■文：河原良雄

YOKOHAMA
ヨコハマ

ADVAN Racing RZII

アドバン・レーシング・アールゼット・ツー

構　造	鋳造1ピース
サイズ	17×7.0J ～ 19×10.0J
カラー	レーシング・ハイパー・ブラック&リング、レーシング・グロス・ブラック&リング、レーシング・インディゴ・ブルー&リング
価　格	5万3460 ～ 7万6140円（税込）

カラー：レーシング・インディゴ・ブルー&リング

伝統のRZが7年ぶりに進化。シャープなツインスポークでアグレッシブな見た目を演出。

RZのイメージを変えずより細くシャープに変身

ADVANレーシングは横浜ゴムが展開するスポーツホイールだ。ツライチなどルックスを満足させつつ、軽量かつ高剛性という性能をひたすら追い求めてきている。そのADVANレーシングの最新作がRZⅡだ。

RZⅡが目指すものは何か。横浜ゴムでホイール企画／デザインCMP（チーフ・マーケティング・プランナー）を務める萩原修さんにうかがった。

「ツイン5本スポークだったRZの7年ぶりの進化版です。一見10本スポークですが、じっくり見ていただければツイン5本スポークと気付いていただけます。さらに注目していただきたいのがスポークの内側です。U字型の広角側はえぐるように、V字型の狭角側は段付きと、異なるサイドカットを施しています。正面から見ればスポークの細さにも驚かれるはずです。さらにダブルフランジの外周側をダイヤカットして、ホイールの存在感を際立たせています」

このスポークを引き立たせているのが弧を描くコンケイブ形状にある。17と19インチにはスタンダードとより深いコンケイブ形状となるGTRデザインの2タイプ。走りの18インチには、さらにアグレッシブなスーパーGTRデザインも加えた3タイプを用意しているのだ。

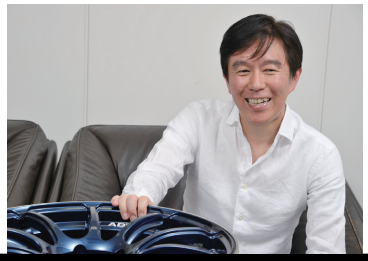
「カラーにもこだわりました。ハイパー・ブラック、グロス・ブラックという定番色に加え、個性的なインディゴ・ブルーを揃えました。インディゴ・ブルーはクルマを選ぶかもしれませんが、色物が少ない昨今だけに目立つこと間違いなしです」

ここでスクープ。なんと目下、15～16インチを開発中とか。S660をはじめ、コンパクトカーに狙いを定めたものだというから大いに期待したい。スポーツに特化したADVANレーシングはさらなる展開を目論む。

レーシング・
ハイパー・ブラック&リング

レーシング・
グロス・ブラック&リング

▼WRX STIにカラーがレーシング・ハイパー・ブラック＆リングのADVAN Racing RZⅡ（19×9.0J 5H-114.3+45）を装着。スポーツカーの精悍さを強調できるだけでなく、サーキットをアグレッシブに攻めるイメージを醸し出す



▶「トレンドを追い求めすぎず、ADVANブランドのスポーツイメージを継承しながらも大胆に進化させました。現在、RZⅡの15、16インチ用も企画中ですので期待して下さい！」と語るのは、横浜ゴムでホイール企画・デザインを担当する萩原修氏